

## 株式情報

## 株式の状況

発行可能株式総数

120,000,000株

発行済株式総数

31,931,900株

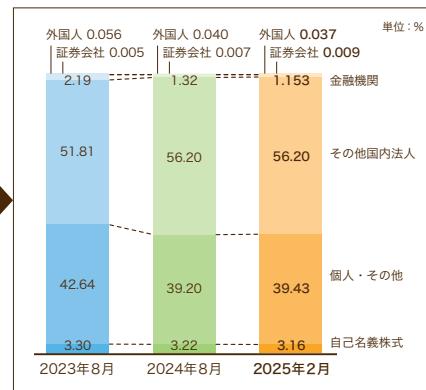
株主数

17,284名

株式の所有者別状況

	2023年8月31日現在		2024年8月31日現在		2025年2月28日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	9	1,867	9	2,405	8	3,158
外国人	20	18,079	20	13,000	19	12,000
金融機関	5	697,786	3	421,914	3	368,214
その他国内法人	87	16,545,210	91	17,946,464	90	17,946,264
個人・その他	15,518	13,616,476	16,702	12,517,329	17,163	12,591,755
自己名義株式	1	1,052,482	1	1,030,788	1	1,010,509
合計	15,640	31,931,900	16,826	31,931,900	17,284	31,931,900

株式の所有者別構成比率の推移



※基準日時点の株主名簿に基づき記載しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から6月30日	公告の方法	電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
定時株主総会	毎年11月	公告掲載URL	http://www.joyfull.co.jp/
基準日	定時株主総会の議決権/毎年8月31日	上場取引所	福岡証券取引所
	期末配当金/毎年8月31日	◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について	株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
	中間配当金/毎年2月末（中間配当を実施する場合）	◎株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行様にお申し出ください。
単元株式数	100株	◎株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または三井住友信託銀行様へお問い合わせ願います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	専用コールセンター	0120-533-600 受付時間：9:00～17:00 (土・日・祝日および12/31～1/3を除く)
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
郵便物送付先	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。		

## 会社概要 (2024年12月31日現在)

創業	1965年6月	資本金	1億円	(連結子会社)
創立	1976年5月	主な事業内容	「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開	株式会社ジョイフル北日本/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル関西/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社フレンドリー/台湾珍有福餐飲股份有限公司/株式会社ジョイフルサービス/株式会社ジョイナス/株式会社ジョイフル商事
社名	株式会社ジョイフル			
本社	大分県大分市三川新町1丁目1番45号			
福岡工場・配送センター	福岡県築上郡築上町日奈古186番1号			
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445番4号			
愛知工場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号			

## BUSINESS REPORT

## 第51期中間事業報告書

2024年7月1日～2024年12月31日

## 経営理念

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、顧客・株主・従業員・取引先・社会の、精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

## ジョイフル 店員の誓い

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第51期（2025年6月期）の中間事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費において持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向にあります。エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の進行、中国経済の減速懸念、ウクライナ情勢の長期化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においては、個人消費やインバウンド消費は増加傾向にあります。エネルギー価格や人件費、原材料価格の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売の強化、社員独立フランチャイズ店舗の拡大など子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析したうえで、グランドメニューの改定を1回、「集結!! 秋のごちそう」「冬の熱々ごはん」などのフェアを3回行いました。

グランドメニューの改定では、国産紅ずわいがにをたっぷり使った「ハンバーグ&かにクリームコロッケ」や、大分県発祥のジョイフルならではの九州名物メニューに「たっぷりタルタルソースのチキン南蛮定食」を追加するなど充実を図りました。また、お客様からのご要望が多かった「和風ハンバーグ」や「野菜たっぷりちゃんぽん」を復活させました。冬フェアでは、ブリップリの牛もつと魚介出汁で旨味たっぷりの「博多もつ鍋定食（ちゃんぽん麺入り）」、サクッと揚げた海の幸を存分に味わえる「海鮮フライ盛り合わせ定食（広島県産かき使用）」、香ばしいピスタチオアイスとチョコレートアイスに、ピスタチオプリンを加えて濃厚に仕上げた「濃厚ピスタチオとチョコレートのパフェ」など、旬の食材を使用した熱々メニューや冬に食べたくなる濃厚スイーツが楽しめるラインナップを揃えました。

さらに、8月にPEANUTSとのコラボレーションメニュー第2弾を販売したほか、冬には人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーションを2回にわたり行い、「龍門炭治郎の炭焼きソースハンバーグコンボ」「蟲柱 胡蝶しのぶの藤色蝶々パフェ」などの商品を販売しました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティー維持・向上を目的に作業チェックシートを活用してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、PEANUTSとのコラボレーションTVCM第2弾やジョイフル宣伝部長の秋山竜次（ロバート）さんが出演する新TVCM「秋だ、ジョイフル?」を放映しました。さらに、7月には首都圏のお客様向け、「美味しく楽しいジョイフル」をご体験いただくために、渋谷PARCOに期間限定でPOP UPストアをオープンしました。9月には大好評いただいている一般のお客様やマスコミを対象とした新商品試食会&福岡工場見学ツアーの体験イベントを開催し、世界にひとつだけのオリジナルパフェ作りや、製造・配送の様子を見ることができ工場見学を行いました。12月には全国の店頭でのQRコード決済の導入を順次開始し、更なるお客様の利便性の向上を図っております。

当中間連結会計期間における店舗数は、グループ直営店5店舗の出店、グループ直営からフランチャイズへの転換5店舗、グループ直営店2店舗の退店により659店舗（グループ直営513店舗、FC146店舗）となりました。

以上の取り組みを行った結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高は35,557百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は2,530百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益は2,542百万円（前年同期比15.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,075百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

なお経営指標としている「総資本経常利益率」「売上高経常利益率」「労働生産性」及び「株主資本当期純利益率」の数値改善のため、より一層の経営努力に努めてまいります。

※QRコードは株式会社ジョイフルの登録商標です。



代表取締役社長

穴見くるみ

## 会社情報・店舗情報

### グループ店舗一覧

(2024年12月31日現在)

# 659 店

うちFC店舗146店舗 ※( )内はFC店舗  
※新業態・台湾含む

#### 九州・沖縄エリア

## 334 店

※新業態店舗を含む

【ジョイフル 328店】  
福岡 97(16) 大分 47(22)  
佐賀 22(8) 宮崎 36(4)  
長崎 22(21) 鹿児島 52(14)  
熊本 45(14) 沖縄 7(7)

#### 中国エリア

## 83 店

※新業態店舗を含む

【ジョイフル 83店】  
鳥取 4 広島 15(2)  
島根 7(2) 山口 35(6)  
岡山 22(1)

#### 北陸エリア

## 11 店

【ジョイフル 11店】  
富山 6 石川 5

#### 中部エリア

## 57 店

【ジョイフル 57店】  
岐阜 11(1) 愛知 28(5)  
静岡 12(3) 三重 6

#### 東北エリア

## 11 店

【ジョイフル 11店】  
宮城 10(1) 福島 1

#### 関東エリア

## 41 店

※新業態店舗を含む

【ジョイフル 40店】  
茨城 6 埼玉 11  
栃木 4(1) 千葉 7  
群馬 8(1) 東京 4(1)

#### 近畿エリア

## 66 店

※新業態店舗を含む

【ジョイフル 39店】  
滋賀 6 兵庫 15(2)  
京都 3 奈良 5  
大阪 3 和歌山 7

【フレンドリー 26店】  
京都 2 奈良 2  
大阪 17 和歌山 3  
兵庫 2

#### 四国エリア

## 39 店

【ジョイフル 39店】  
徳島 5 愛媛 17(10)  
香川 12(2) 高知 5(2)

#### 台湾

## 17 店



※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なります）

## 2025年6月期 上期の主な取り組み

### 関東圏での認知拡大プロモーション、体験イベント、デジタルキャンペーンなど多角的な施策の実施

ジョイフルでは、多様化する顧客とそのニーズ、新規顧客獲得を目的とし、さまざまな視点による施策を展開いたしました。

2024年7月12日～15日には、関東圏のお客様へ向けた「POP UPストア」を、東京・渋谷で開催しました。インフルエンサーマーケティングなどの効果から、集客・売上ともに高い実績をあげることができました。



2024年9月28日・29日にはの工場見学を実施しました。今回の開催より工場所在地の「福岡県築上町」との官民連携イベントも行い、顧客との関係性の強化に努めました。



2024年10月1日～29日に実施しました、TVアニメ「Re:ゼロから始める異世界生活」とのコラボキャンペーンは、アプリやSNSを使用し、アニメファンを中心とした、新規顧客層獲得につながりました。



©長月達平・株式会社KADOKAWA刊 / Re:ゼロから始める異世界生活3製作委員会

## 社員独立フランチャイズ制度の広がり

ジョイフルでは勤務する社員の新たな働き方の一つとして、自身が積み重ねた店舗経営ノウハウを活かして、希望地域で加盟店代表者として独立することができる社員独立フランチャイズ制度を2022年8月より開始いたしました。2025年1月1日現在で、157名（162店舗）が加盟店代表者として独立・開業しております。

社員独立フランチャイズ制度を実施することで、加盟店代表者からロイヤリティが支払われ、本部の安定的な経営が実現できるとともに、加盟店代表者は今までの店舗経営を活かしつつ、転勤のない希望地域で開業することが可能となります。また、もともと営業している店舗を使って開業を行うことで、精度の高い事業計画と本部からの全面バックアップのもとに営業に注力することができます。

今後約6年で当社店舗の約70%のフランチャイズ化を目指し、『店舗・本部の収益アップ＝加盟店代表者の収入アップ』を達成するという、新たな働き方の実現を進めてまいります。

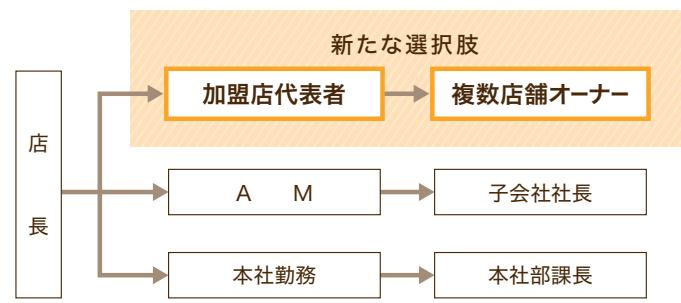


### フランチャイズシステムとは

フランチャイズとは、フランチャイズに加盟する人（加盟店代表者）がフランチャイズ本部（ジョイフル）から店舗・サービス・商品などを使う権利を得て、店舗の経営・運営を行うものです。

- 加盟店代表者と本部がビジネスパートナーとして一体となり、共同で収益を上げることで、双方に利益がある関係を築きます。
- 加盟店代表者は本部の全面バックアップを受け、収益向上に専念できることで収益の一部をロイヤリティとして本部に支払っていただくビジネスモデルとなります。

### 社員の働き方イメージ





※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なります）

## 2025年6月期 下期の主な取り組み

### アニメ等のコラボによる大ヒット施策とホームページの充実

2024年11月19日～2025年1月28日に実施しました、大人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボキャンペーンにて、期間計13種類のメニューの販売を行った結果、累計販売数100万食を突破することができました。

期間中は多くのお客様にご利用いただき、SNSではメニュー画像の投稿や、歓喜の声などもあがり、大変ご好評をいただきました。

さらに2月には、新規顧客へのアプローチ施策として、スマホアプリのひっぱりハンティングRPG「モンスターストライク」とのコラボキャンペーンを、2025年2月7日～3月25日まで開催しました。



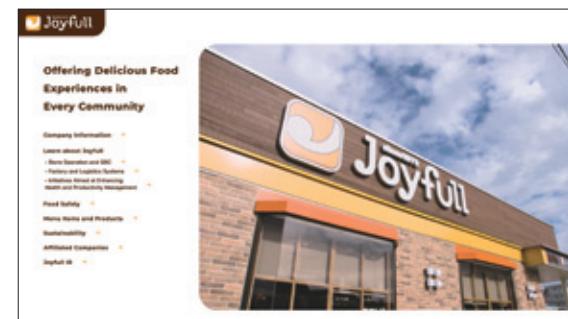
©吾峠呼世晴/集英社・アニプレックス・ufotable

また、将来の国際的な店舗展開の第一歩として、ホームページ内に英語・繁体語の会社情報ページの立ち上げを行いました。

今後はアジア、オセアニアなど、台湾以外の地域でも市場調査を行い、新規出店を目指してまいります。



©MIXI



## SDGsへの取り組みー食の楽しさと感動を届けて笑顔あふれる未来へ

### ジョイフルのマテリアリティ



取り組みの一つとして、フードバンク事業者「フードバンク東九州」様へ、従業員が家庭から持ち寄った食材を寄付しています。寄付した食材は、必要とされている方や福祉施設に無償で提供されます。

その他に、働きやすい職場環境づくりを推進することで、モチベーションの向上、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がると考え、2020年から健康経営実施における目標を定め、「健康増進、生活習慣病予防対策」「メンタルヘルス対策」などを進めた結果、2021年3月より毎年「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されています。

2018年に認定された「くるみん」は、子育てサポート企業としての実績が認められ、毎年認定交付をされています。継続して実施しているプラスチック製ストローの提供廃止、バイオマス材料を配合したテイクアウト用袋の導入などのサービスや事業活動を通じて、今後も環境保全と社会の発展のため、取り組みを進めてまいります。

また、ジョイフルでは、子ども食堂事業や子ども支援活動も継続して行っております。子ども達に提供される食事に対して食材の提供を行うことによりフードロスの削減に努めるとともに、人と人との関わりが希薄になっている現在の社会において、未来を担う子ども達に対して、地域の方々との共食の機会を提供することにより、豊かな人格育成、新たな地域コミュニティの構築などに取り組んでいます。



**新店オープン** 〈海外〉 ■台湾ジョイフル 台南東門店（2024年11月10日）  
台北車站店（2024年12月18日）  
雲林斗六店（2024年12月31日） ※（ ）内の日付はオープン日です。

連結財務諸表

Point

資産の部

当中間連結会計期間末の総資産は31,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ689百万円の増加となりました。これは主に、有価証券の減少1,150百万円、投資その他の資産その他の増加654百万円、原材料及び貯蔵品の増加452百万円、現金及び預金の増加342百万円、売掛金の増加277百万円、建物及び構築物の増加276百万円によるものであります。

Point

純資産の部

当中間連結会計期間末の純資産合計は12,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,923百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,920百万円によるものであります。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,006	6,776
固定資産	23,416	24,335
有形固定資産	19,010	19,359
無形固定資産	362	278
投資その他の資産	4,043	4,697
資産合計	30,422	31,111
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,079	9,696
固定負債	9,915	9,065
負債合計	19,994	18,761
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,214	12,134
資本金	100	100
資本剰余金	4,237	4,237
利益剰余金	7,417	9,337
自己株式	△1,540	△1,540
その他の包括利益累計額	128	121
純資産合計	10,427	12,350
負債純資産合計	30,422	31,111

Point

負債の部

当中間連結会計期間末の負債合計は18,761百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,233百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少801百万円、買掛金の増加693百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少550百万円、未払費用の減少406百万円、未払消費税等の減少323百万円、短期借入金の増加110百万円によるものであります。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年7月1日 至2024年12月31日)
売上高	33,926	35,557
売上原価	10,957	12,658
売上総利益	22,969	22,899
販売費及び一般管理費	20,751	20,369
営業利益	2,217	2,530
営業外収益合計	107	124
営業外費用合計	114	112
経常利益	2,211	2,542
特別利益	-	-
特別損失	25	13
法人税等	92	440
中間純利益	2,092	2,087
親会社株主に帰属する中間純利益	2,081	2,075

\*金額は百万円未満を切捨表示しております。

Point

売上高

営業施策として料理品質の向上に取り組むとともにお客様のニーズに対応した販売促進の実施に取り組んだ結果、前期比4.8%増加の35,557百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年7月1日 至2024年12月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,633	2,609
投資活動による キャッシュ・フロー	△923	△1,937
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,516	△1,465
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	210	△807
現金及び現金同等物の 期首残高	2,204	3,476
現金及び現金同等物の 中間期末残高	2,415	2,668

Point

営業活動による  
キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは前期比23百万円減少して2,609百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税金等調整前中間純利益2,528百万円、減価償却費840百万円、仕入債務の増減額693百万円、棚卸資産の増減額△507百万円、未払費用の増減額△406百万円、未払又は未収消費税等の増減額△323百万円であります。

Point

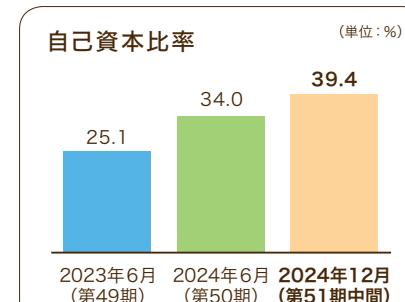
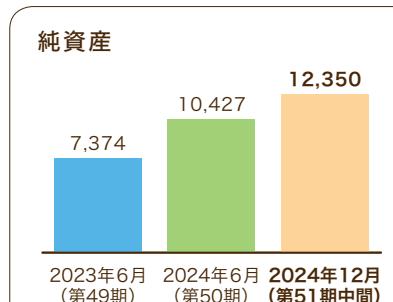
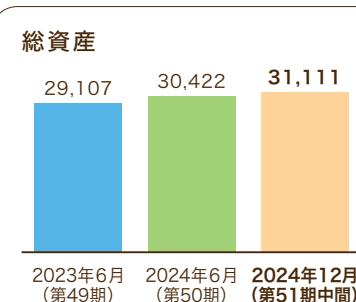
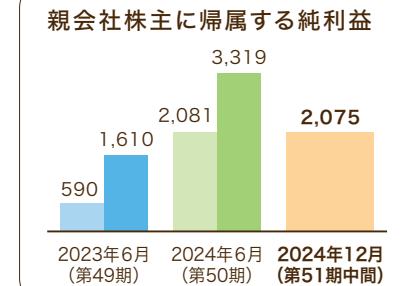
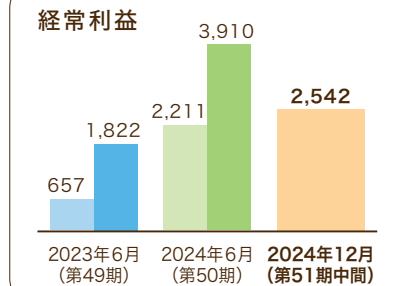
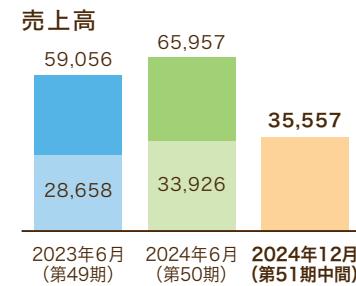
投資活動による  
キャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは前期比1,014百万円減少して△1,937百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、投資有価証券の取得による支出△1,002百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出△954百万円であります。

Point

財務活動による  
キャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは前期比50百万円増加して△1,465百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、長期借入金の返済による支出△1,352百万円、配当金の支払額△154百万円であります。



■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)

株式会社ジョイフル株主さま限定  
特別販売のご案内

全商品詰め合せセット



12種12個入り



通常価格 **10,998円**

特別価格

送料  
無料

55%  
OFF

**4,949円**

ご注文方法

※QRコードからジョイフル公式オンラインショップへアクセスして  
カートに入れた商品の「クーポン」欄にクーポンコードを入力すると  
特別価格で購入いただけます。

クーポンコード **6WYJ3VRC**

使用期限 **2025年6月15日23:59まで**



株式会社ジョイフル株主さま限定  
特別販売のご案内

全商品詰め合せセット



12種24個入り



通常価格 **17,998円**

特別価格

送料  
無料

55%  
OFF

**8,099円**

ご注文方法

※QRコードからジョイフル公式オンラインショップへアクセスして  
カートに入れた商品の「クーポン」欄にクーポンコードを入力すると  
特別価格で購入いただけます。

クーポンコード **LGYDK4X8**

使用期限 **2025年6月15日23:59まで**

